

2024年度 現場点検において確認された「良好な取組み」

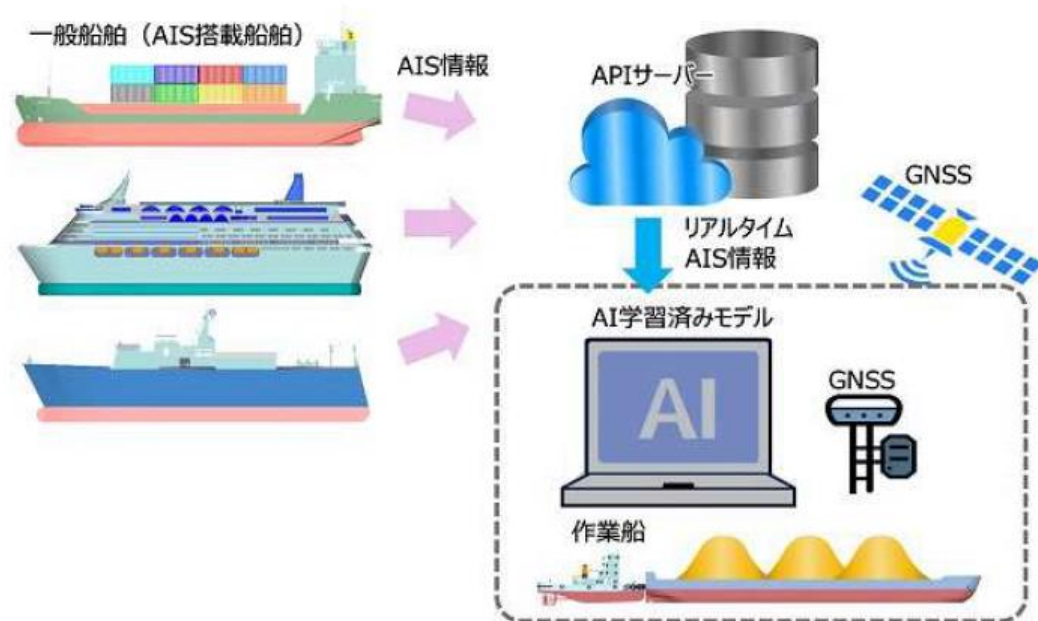
■ AI長期針路予測システムを利用した安全運航への取組み

日本建設業連合会 安全委員会 海洋安全部会では、海洋工事現場の安全衛生、環境対策の推進のために全国の海洋工事現場から毎年数カ所を選び所属委員による点検を実施しています。

その際に、点検委員が確認した「良好な取組み」について取り纏めたものを紹介いたします。

■AI長期針路予測システムを利用した安全運航への取組み

『AI長期針路予測システム※』を活用し、周辺海域を航行する一般船舶の針路予測情報を早期に把握することで、計画航路上を航行する際、本船の船長が航行速度・進行方向の判断材料の一つとしている。これにより安全性・施工性の向上が期待できる。



システム概要図

※AIS搭載船舶から発信されるAIS情報を用いて一般船舶の針路を最大60分先までAIが予測することで、衝突リスクを評価し危険性の高い箇所を通知するシステム。

従来、作業船の船長と警戒員が目視により一般船舶の動静を監視することで、衝突の危険性を判断し、避航・減速・停止の操作を行っていた。

■AIS (Automatic Identification System : 船舶自動識別装置)



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

安全委員会 海洋安全部会